

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	1年次前期
科目名称	論理推論		履修	必履修
担当講師	高橋 愛美			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	60		単位時間	
授業計画	4月	判断推理(論理・命題、集合、虫食い算)		
	5月	判断推理(魔方陣、暗号、暦、類推)		
	6月	判断推理(方位・位置、順序・比較・計算、試合と勝敗、手順問題その他)		
	7月	空間把握(投影図、平面図形の分割と合成、立体図形の分割と合成、図形の数)		
	8月	空間把握(展開図、折り紙、サイコロ)		
	9月	空間把握(軌跡、回転体、最短経路)、期末試験		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	公務員試験特有の試験科目である課題処理について、論理的思考と共にその解法を学ぶ。			
授業目標	論理的思考力のトレーニングと解法の理解を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	1年次前期
科目名称	数理推論		履修	必履修
担当講師	藤岡 頌馬			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	60		単位時間	
授業計画	4月	数的推理(時間・距離・速さ・流水算、時計算、仕事算・注水算)		
	5月	数的推理(比・割合、濃度、測量、平均)		
	6月	数的推理(年齢算、数、順列・組合せ・確率)		
	7月	数的推理(図形)、資料解釈(実数)		
	8月	資料解釈(割合・構成比、指数・その他)		
	9月	問題演習、期末試験		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	公務員試験特有の試験科目である数的推理について、数理的思考と共にその解法を学ぶ。			
授業目標	数理的思考力のトレーニングと解法の理解を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	1年次後期
科目名称	推論演習		履修	必履修
担当講師	藤岡 頌馬、高橋 愛美			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	108		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	判断・数的演習(基本問題)		
	11月	判断・数的演習(基本問題)		
	12月	判断・数的演習(大卒程度試験実戦問題)		
	1月	判断・数的演習(大卒程度試験実戦問題)		
	2月	判断・数的演習(大卒程度試験実戦問題)		
	3月	判断・数的演習(大卒程度試験実戦問題)、期末試験		
授業概要	論理推論、数理推論で身につけた力を活かし、過去問題の演習を行うことで論理的思考力、数理的思考力を向上させる。			
授業目標	演習を通じて、論理的思考力・数理的思考力の向上を図る。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	1年次前期
科目名称	社会科学		履修	必履修
担当講師	藤岡 頌馬			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	60		単位時間	
授業計画	4月	政治(民主政治の原理と歴史、日本国憲法概論、基本的人権、国会)		
	5月	政治分野(内閣、裁判所、政党政治と選挙、地方自治、各国の政治体制)		
	6月	政治(国際社会と国際政治の動向)、経済(経済の諸学説)		
	7月	経済(企業と市場、国民所得と経済成長・景気循環、金融、財政)		
	8月	経済(日本経済の性格と課題、国際経済の動向、労働問題と社会保障)		
	9月	社会(現代社会の人間と文化、環境と人間生活)、期末試験		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	政治、経済の基本的な仕組みなどを学習する。また、専門科目で必要となる基礎知識を身につける。			
授業目標	政治、経済の基本的な仕組みを理解することを目指す。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	1年次後期
科目名称	社会科学演習Ⅰ		履修	必履修
担当講師	藤岡 頌馬			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	36		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	基本問題演習		
	11月	基本問題演習		
	12月	応用問題演習		
	1月	応用問題演習		
	2月	発展問題演習		
	3月	発展問題演習		
授業概要	社会科学で学習したことを活かし、現代社会の状況や課題を理解するため問題演習を行う。			
授業目標	現代社会の状況や課題を理解できることを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	1年次前期・後期
科目名称	人文科学Ⅰ・Ⅱ		履修	必履修
担当講師	秋庭 裕史			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	80 (Ⅰ:44、Ⅱ:36)		単位時間	
授業計画	4月	世界史(古代、ギリシャ・ローマ文明)、期末試験		
	5月	世界史(中世～近世)		
	6月	世界史(近世～近代)		
	7月	世界史(中国史、イスラム史)		
	8月	日本史(古代)		
	9月	日本史(中世)		
	10月	日本史(武家社会)		
	11月	日本史(江戸時代)		
	12月	日本史(明治時代)		
	1月	地理(世界地理)		
	2月	地理(日本地理)		
	3月	演習、期末試験		
授業概要	世界史・日本史・地理分野の基本的事項を学習する。			
授業目標	基本的事項の理解と知識の定着を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	1年次前期・後期
科目名称	自然科学Ⅰ・Ⅱ		履修	必履修
担当講師	谷口 和美			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	74 (Ⅰ:38、Ⅱ:36)			単位時間
授業計画	4月	生物(細胞、組織、エネルギー交代)		
	5月	生物(生殖と発生、遺伝、反応、生物の集団)		
	6月	数学(関数、不等式、方程式)		
	7月	数学(図形)		
	8月	物理(運動、力)		
	9月	物理(エネルギー、電気)、期末試験		
	10月	化学(物質、気体の性質、化学反応)		
	11月	化学(気体の性質、酸化・還元)		
	12月	地学(地球の構造、地震・火山・地殻変動)		
	1月	地学(気象、宇宙)		
	2月	演習(大卒程度)		
	3月	演習(大卒程度)、期末試験		
授業概要	生物、数学、物理、化学、地学の基本知識を学ぶ。			
授業目標	基本的事項の理解と知識の定着を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	1年次前期
科目名称	憲法		履修	必履修
担当講師	秋庭 裕史			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	82		単位時間	
授業計画	4月	立憲主義、憲法史、三大原則		
	5月	基本的人権(総論、包括的基本権、自由権)		
	6月	基本的人権(社会権、その他人権)、国会、内閣		
	7月	裁判所、財政、地方自治、憲法保障		
	8月	憲法基本問題演習		
	9月	憲法基本問題演習、期末試験		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	憲法の基本的人権、統治機構、憲法保障などの憲法理論を体系的に学習する。			
授業目標	憲法についての基本知識と学説・判例についての知識を習得することを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	1年次後期
科目名称	憲法演習Ⅰ		履修	必履修
担当講師	秋庭 裕史			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	36		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	憲法基本問題演習		
	11月	憲法基本問題演習		
	12月	憲法基本問題演習		
	1月	憲法実戦問題演習、憲法論点演習		
	2月	憲法実戦問題演習、憲法論点演習		
	3月	憲法実戦問題演習、憲法論点演習、期末試験		
授業概要	憲法理論についての知識を問題演習を通じて深める。また、憲法が抱える問題についての論点や判例を理解する。			
授業目標	憲法の基本問題に対応でき、現在憲法が抱える論点を理解できることを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)	開講時期	1年次前期・後期
科目名称	経済学Ⅰ・Ⅱ	履修	必履修
担当講師	藤岡 頌馬		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有（ ）		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	198（Ⅰ：90、Ⅱ：108）		単位時間
授業計画	4月	経済学ガイダンス、消費者理論	
	5月	消費者理論	
	6月	生産者理論	
	7月	市場の効率性	
	8月	政府の失敗	
	9月	国民所得諸概念、期末試験	
	10月	45度分析	
	11月	IS-LM分析	
	12月	AD-AS分析	
	1月	国際経済	
	2月	投資理論、消費理論	
	3月	成長理論、期末試験	
授業概要	経済学Ⅰはミクロ経済学の学習をする。経済システムを経済主体ごとに学習し、個々の消費者、生産者の行動理論に取り組む。経済学Ⅱはマクロ経済学の学習をする。マクロ的な視点に立ち、経済政策の効果を分析する。		
授業目標	大卒レベルの公務員試験に対応できる知識を身につける。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)	開講時期	1年次前期・後期
科目名称	経営学Ⅰ・Ⅱ	履修	必履修
担当講師	秋庭 裕史		
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	52 (Ⅰ:16、Ⅱ:36)		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月	経営学説(伝統的管理論、人間関係論)	
	9月	経営学説、期末試験	
	10月	経営組織論、経営戦略論	
	11月	経営学各論(人事・労務管理、マーケティング、財務管理)	
	12月	現代企業の経営(国際経営論、経営学史含む)	
	1月	経営学基本問題演習	
	2月	経営学基本問題演習	
	3月	経営学基本問題演習、期末試験	
授業概要	経営学説、経営組織、経営戦略を体系的に学習し、現代企業の経営を研究する。また、企業の置かれている環境に重点を置き、課題を浮き彫りにする。		
授業目標	経営学説の基本知識を理解し、現代の企業が抱える問題を把握することを目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	1年次前期・後期
科目名称	民法Ⅰ・Ⅱ		履修	必履修
担当講師	秋庭 裕史			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	178 (Ⅰ:90、Ⅱ:88)			単位時間
授業計画	4月	民法概論、総則(人、法人、物、法律行為)		
	5月	総則(意思表示、代理、無効・取消、条件・期限、時効)		
	6月	物権(物権変動、占有権、所有権、用益物権)		
	7月	物権(法定担保物権、約定担保物権)		
	8月	債権総論(債権の目的・効力、多数当事者の債権債務関係)		
	9月	債権総論(債権譲渡、債権の消滅)、債権各論(契約総論)、期末試験		
	10月	債権各論(契約の効力、解除、各種契約)		
	11月	親族		
	12月	相続		
	1月	民法基本問題演習		
	2月	民法基本問題演習		
	3月	民法基本問題演習、期末試験		
授業概要	民法全体を概括的に学習後に、民法総則と物権法に関し詳細な民法理論を習得する。			
授業目標	民法についての基本知識と学説・判例についての知識を習得することを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	1年次後期
科目名称	行政法		履修	必履修
担当講師	秋庭 裕史			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	72		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	行政法の基本原則、行政組織法、行政活動(行政立法)		
	11月	行政活動(行政行為、行政行為の効力、行政行為の瑕疵、附款)		
	12月	行政活動(行政強制、行政契約、行政計画、行政指導、行政裁量)		
	1月	行政手続法、情報公開制度、行政不服審査法		
	2月	行政事件訴訟法		
	3月	国家賠償法、損失補償制度、期末試験		
授業概要	行政作用法、行政組織法、行政救済法を体系的に学習する。また、情報公開制度や手続法についての知識を身につける。			
授業目標	行政法の理論や基本知識を身につけることを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	1年次前期
科目名称	公務員総合演習Ⅰ		履修	必修
担当講師	藤岡 頌馬			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	30		単位時間	
授業計画	4月	基本総合演習(憲法、民法、経済、教養科目)		
	5月	基本総合演習(憲法、民法、経済、教養科目)		
	6月	基本総合演習(憲法、民法、経済、教養科目)		
	7月	基本総合演習(憲法、民法、経済、教養科目)		
	8月	基本総合演習(憲法、民法、経済、経営、教養科目)		
	9月	基本総合演習(憲法、民法、経済、経営、教養科目)		
授業概要	演習を通じて学習してきた知識の定着を図り、基礎力を養う。			
授業目標	学習してきた知識の定着と基礎力の養成を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)	開講時期	1年次後期
科目名称	公務員上級演習Ⅰ	履修	必履修
担当講師	藤岡 頌馬		
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習
単位時間数	52		単位時間
授業計画			
	10月	上級総合演習(憲法、民法、経済、経営、教養科目)	
	11月	上級総合演習(憲法、民法、経済、経営、教養科目)	
	12月	上級総合演習(憲法、民法、経済、経営、教養科目)	
1月	上級総合演習(憲法、民法、経済、経営、教養科目)		
2月	上級総合演習(憲法、民法、経済、経営、教養科目)		
3月	上級総合演習(憲法、民法、経済、経営、教養科目)		
授業概要	演習を通じて学習してきた知識の定着を図り、応用力を養う。		
授業目標	学習してきた知識の定着と応用力の養成を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	1年後期
科目名称	財政学		履修	必履修
担当講師	藤岡 頌馬			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日から金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	56		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	財政理論、予算制度		
	11月	公債論、地方財政制度		
	12月	財政投融资、社会保障制度		
	1月	租税理論		
	2月	日本の税制		
	3月	諸外国の財政事情、期末試験		
授業概要	政府の役割、公共財、財政の歴史等の理論の定着を図る。さらにその理論を前提に日本の諸制度、システムの理解に取り組む。また、現状の財政状況にも触れ課題、問題点を明らかにする。			
授業目標	大卒レベルの公務員試験に対処できるレベルをめざす。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	1年次後期
科目名称	文章理解Ⅰ		履修	必履修
担当講師	高橋 愛美			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	36		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	文章読解(要旨把握)、論作文の書き方		
	11月	文章読解(空欄補充、整序、英文)		
	12月	文章読解基本問題演習、作文		
	1月	文章読解基本問題演習、作文、文芸(日本古代～近世)		
	2月	文章読解基本問題演習、作文、文芸(日本近代～現代)		
	3月	論作文、日本近代(海外文学)、期末試験		
授業概要	現代文、英文の読解を通じて文章の基本を学ぶ。また、作文を通じて文章を書く力を身につける。			
授業目標	文章の趣旨を読み取り、自分の考えを文章に表すことができることを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	1年次前期・後期
科目名称	行政組織研究Ⅰ・Ⅱ		履修	必履修
担当講師	藤岡 頌馬			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・実習
単位時間数	50(Ⅰ:30、Ⅱ:20)			単位時間
授業計画	4月	国家行政組織研究		
	5月	国家行政組織研究		
	6月	国家行政組織研究		
	7月	地方行政組織研究		
	8月	地方行政組織研究		
	9月	地方行政組織研究		
	10月	希望進路に基づく自由研究		
	11月	希望進路に基づく自由研究		
	12月	希望進路に基づく自由研究		
	1月	希望進路に基づく自由研究		
	2月	希望進路に基づく自由研究		
	3月	希望進路に基づく自由研究		
授業概要	我が国の主な行政組織について、その組織概要や特色、人事制度などについて研究をして理解をする。また、後期には、これまでの研究を活かして、自己の進路希望に応じて自由研究を行う。			
授業目標	我が国の主な行政組織についての理解と、自己の進路希望に基づく自由研究の達成を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	論理推論演習		履修	必履修
担当講師	高橋 愛美			
担当講師の 実務経験の有無	(無) ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	80		単位時間	
授業計画	4月	基本問題演習		
	5月	基本問題演習		
	6月	応用問題演習		
	7月	応用問題演習		
	8月	発展問題演習		
	9月	発展問題演習、期末試験		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	演習を通じて論理的思考力の更なる向上を図る。			
授業目標	論理的思考力の更なる向上を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	数理推論演習		履修	必履修
担当講師	高橋 愛美			
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	80		単位時間	
授業計画	4月	基本問題集演習		
	5月	基本問題集演習		
	6月	応用問題演習		
	7月	応用問題演習		
	8月	発展問題演習		
	9月	発展問題演習、期末試験		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	演習を通じて数理的思考力の更なる向上を図る。			
授業目標	数理的思考力の更なる向上を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	憲法演習Ⅱ		履修	必履修
担当講師	高橋 愛美			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	60		単位時間	
授業計画	4月	憲法実戦問題演習		
	5月	憲法実戦問題演習		
	6月	憲法実戦問題演習、単位認定試験		
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	問題演習を通じて、憲法の論点や判例についての理解をさらに深める。また、近時の法改正や判例変更について学習する。			
授業目標	憲法の応用問題に対応でき、憲法が抱える論点に対する見解をまとめられることを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	経済学演習		履修	必履修
担当講師	藤岡 頌馬			
担当講師の 実務経験の有無	(無) ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	60		単位時間	
授業計画	4月	分野別及び総合過去問演習		
	5月	分野別及び総合過去問演習		
	6月	分野別及び総合過去問演習、単位認定試験		
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	経済学Ⅰ、経済学Ⅱで培った経済理論を演習によって知識の定着を図る。			
授業目標	経済学の応用問題に対応でき、現実の事例に対応できることを目標と			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	民法演習		履修	必履修
担当講師	高橋 愛美			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	60		単位時間	
授業計画	4月	民法実戦問題演習		
	5月	民法実戦問題演習		
	6月	民法実戦問題演習、単位認定試験		
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	問題演習を通じて、民法の論点や判例についての理解をさらに深める。また、近時の法改正や判例変更について学習する。			
授業目標	民法の応用問題に対応でき、現実の事例に民法の知識を応用できることを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	行政法演習		履修	必履修
担当講師	高橋 愛美			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	60		単位時間	
授業計画	4月	行政法実戦問題演習		
	5月	行政法実戦問題演習		
	6月	行政法実戦問題演習、単位認定試験		
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	演習を通じて、行政作用法、行政組織法、行政救済法の知識や判例への理解を深める。また、近時の法改正や判例変更について学習する。			
授業目標	行政法の応用問題に対応でき、実際の事例に適用できることを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	2年前期
科目名称	財政学演習		履修	必履修
担当講師	藤岡 頌馬			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日から金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	20		単位時間	
授業計画	4月	経済財政事情の理解と過去問分野別演習		
	5月	総合演習		
	6月	総合演習、単位認定試験		
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	財政学で培った知識を定着させるため、問題演習に重点を置く。また、政治・経済との関係に触れ、ここ数年の財政の傾向、事情を知ること、さらに前半演習、後半解説を通して得点力の向上を図る。			
授業目標	公務員試験と同時並行の時期であることから、得点することを意識させる。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	経営学演習		履修	必履修
担当講師	秋庭 裕史			
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	20		単位時間	
授業計画	4月	経営学実戦問題演習		
	5月	経営学実戦問題演習		
	6月	経営学実戦問題演習、単位認定試験		
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	演習を通じて経営学に対する知識を深め、現代の企業の課題を理解する。			
授業目標	経営学の応用問題に対応でき、現代の企業の組織上の課題などを理解できることを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	白書研究		履修	必履修
担当講師	藤岡 頌馬			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	60		単位時間	
授業計画	4月	財政、日本経済、世界経済		
	5月	国際事情、労働問題、社会保障		
	6月	問題演習、単位認定試験		
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	数々の社会問題を政策決定者の視座から考え、その状況、問題点、解決策を各白書を通じて学習し、自分の考えを小論文にまとめる。			
授業目標	わが国政策について理解し、それについて自分の見解を持ち、それを文章にまとめられることを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	文章理解Ⅱ		履修	必履修
担当講師	高橋 愛美			
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	72		単位時間	
授業計画	4月	論作文演習、読解問題演習		
	5月	論作文演習、読解問題演習		
	6月	論作文演習、読解問題演習		
	7月	論作文演習、読解問題演習		
	8月	論作文演習、読解問題演習		
	9月	論作文演習、読解問題演習、期末試験		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	自己の考えを論作文にまとめる。また、問題演習を通じ、読解力の向上を図る。			
授業目標	自分の考えを文章にまとめることができることを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80％以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)	開講時期	2年次前期
科目名称	社会科学演習Ⅱ	履修	必履修
担当講師	藤岡 頌馬		
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習
単位時間数	68 単位時間		
授業計画	4月		
	5月		
	6月	社会科学上級問題演習、時事問題研究	
	7月	社会科学上級問題演習、社会科学初級問題演習、時事問題研究	
	8月	社会科学初級問題演習、時事問題研究	
	9月	社会科学初級問題演習、時事問題研究、期末試験	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	政治経済に対する知識を演習を通じて深める。また、現在世の中で起こっていることを理解する。		
授業目標	本試験問題に対応でき、世の中の問題を理解することを目指す。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	人文科学演習		履修	必履修
担当講師	秋庭 裕史			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	80		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月	人文科学実戦問題演習		
	7月	人文科学実戦問題演習		
	8月	人文科学実戦問題演習		
	9月	人文科学実戦問題演習、期末試験		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	演習を通じて、日本史、世界史、地理の知識の定着を図る。			
授業目標	本試験問題に対応できることを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	自然科学演習		履修	必履修
担当講師	谷口 和美			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習	
単位時間数	80		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月	自然科学実戦問題演習		
	7月	自然科学実戦問題演習		
	8月	自然科学実戦問題演習		
	9月	自然科学実戦問題演習、期末試験		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	演習を通じて、物理、生物、地学、数学、化学の知識の定着を図る。			
授業目標	本試験問題に対応できることを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	2年次後期
科目名称	法律実務		履修	必履修
担当講師	高橋 愛美			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義
単位時間数	56		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	基礎法学		
	11月	公法の解釈と運用		
	12月	私法の解釈と運用		
	1月	契約法		
	2月	訴訟法、その他、期末試験		
	3月			
授業概要	行政職員として、行政サービスを提供するために必要な法務能力を身につける。			
授業目標	行政職員として必要となる、法解釈や運用等の法務能力が身につけていることを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)	開講時期	2年次後期
科目名称	ビジネス講座	履修	必修
担当講師	高橋 愛美		
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	56		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	社会人の心構え、求められる資質	
	11月	社会常識	
	12月	ビジネスマナー、接遇一般	
	1月	ビジネス文書の定型文、資料やグラフの見方	
	2月	文書の取り扱い、資料管理、日程管理、その他、期末試験	
	3月		
授業概要	社会常識や一般的なビジネスマナーや接遇マナー、ビジネス文書作成知識について学習をする。		
授業目標	一般的なビジネスマナーや接遇マナーを身につけ、基本的なビジネス文書を作成できることを目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)		開講時期	2年次後期
科目名称	商業簿記		履修	必履修
担当講師	高橋 愛美			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	140		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	簿記の基礎、現金及び当座預金の処理、商品売買		
	11月	手形、その他の取引、試算表		
	12月	決算の処理、精算表		
	1月	財務諸表、伝票、その他		
	2月	演習、期末試験		
	3月			
授業概要	日本商工会議所主催簿記検定3級の学習を通じ、商業簿記の基本と帳簿への勘定記入の仕組みを学ぶ。			
授業目標	商業簿記について基本的な帳簿への記入ができることと日本商工会議所主催簿記検定3級合格を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)	開講時期	2年次後期
科目名称	総合講座A・B	履修	選択必修
担当講師	各講座毎で担当講師が異なるため未記載		
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	112 (A:56、B:56)		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	各選択科目で講義・演習	
	11月	各選択科目で講義・演習	
	12月	各選択科目で講義・演習	
	1月	各選択科目で講義・演習	
	2月	各選択科目で講義・演習	
	3月		
授業概要	選択科目A・B毎で1科目ずつ合計2科目を任意選択して学習をする。毎年度で開講科目は異なるが、例として法律系選択科目、コンピュータ系選択科目、語学系選択科目、ビジネス系選択科目などで構成される。		
授業目標	各選択科目で学習する知識の習得や検定合格などを目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (上・中級公務員コース)	開講時期	2年次後期
科目名称	コンピュータリテラシー	履修	必修
担当講師	佐々木 真弓		
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	56		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	表計算ソフトの基本操作	
	11月	表計算ソフトの基本操作	
	12月	表計算ソフトの応用技能	
	1月	表計算ソフトを用いた文書の作成(基本)	
	2月	表計算ソフトを用いた文書の作成(応用)、期末試験	
	3月		
授業概要	一般的なコンピュータの操作および表計算ソフトの技能を学習する。		
授業目標	一般的なコンピュータの操作および表計算ソフトの技能の定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		